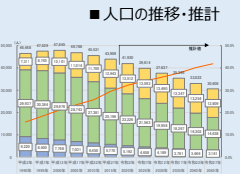


(1) 時代の変化による課題と中野市の特色

●時代の変化による課題

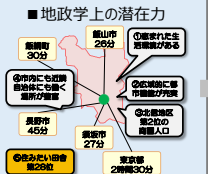
- ・人口減少、高齢化等
- ・地域課題は拡大の一途



■人口の推移・推計

●中野市の潜在力

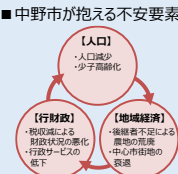
- ・魅力的な「田園都市」としてのポジションが、全国的に評価され始めている



■地政学上の潜在力

●中野市の不安要素

- ・「人口減少→地域経済の低迷→行財政サービスの縮小」の負のスパイラルで、「田園都市」の魅力が失われるリスクがある




■中野市が抱える不安要素

(2) 計画づくりに求められること

- 時代の変化を市民等とともに乗り越えるため、まちの現状や目指す未来を共有する
- オール中野で協働して、潜在力を活かし不安要素に対応する
- 重要局面だからこそ、行政マネジメント力を強化し、戦略性のある事業立案や資源の適正配分をする

(3) 業務実施方針

- 1) これまで以上にまちづくりの羅針盤となる総合計画をつくる**
 - 基本構想に加筆（改訂）を行い、将来都市像や基本政策の意図を市民・地域・事業者と共有しやすくする
 - 様々な機会を通じて、中野市の「田園都市」としての潜在力や不安要素、目指す未来等を何度も発信し、知ってもらう
- 2) 市民・地域・事業者との協働を一步進める後期計画を策定する**
 - 市政WSの結果を、後期計画の施策に適切に反映する
 - 市民・地域・事業者の取組と中野市の施策との連動性を高める
- 3) 策定に関わった市民・地域・事業者の意識変容・行動変容を誘発する**
 - 多くの市民を巻き込み、まちづくりへの機運やシビックプライドを醸成し、多くのアイデアを収集する
 - 市政WSの結果の反映先がわかるようにし、「私たちの計画」と感じられるようにする
- 4) 戦略性のある事業立案や改善ができるようにする**
 - 将来都市像や基本政策の実現条件を定量的に説明できるようにする
 - 実施計画の見直し時に後期計画を参照するよう工夫する
 - 重点プロジェクトを適切に運用できるよう、総合計画と総合戦略の一体化を更に進め、評価を簡素化してPDCAを回しやすくするとともに、事務負担を軽減する

(4) 市政ワークショップの概要

中野市に在住の方はどなたでもご参加いただけます。

	第1回	第2回	第3～5回
テーマ	総合計画の役割と中野市の現状を共有してワークの土台をつくる	中野市に必要な変化を導出（未来からみた地域の課題を導出）	変化の第1歩を踏み出すためのアイデアを重点分野別に収集
内容	講演：まちづくりの現場と地域経営の関係性 情報提供：中野市の潜在力と不安要素 ワーク：協働による潜在力の活かし方を考える	ワーク：中野市の未来の状況を想定し、そこから逆算して今後取り組むことを考える	講演：先行事例の紹介 ワーク：重点分野別にまちづくりのアイデアや、市が実施すべき施策を考える
時期	6月中旬	7月上旬	8月中～下旬